

FOR IMMEDIATE RELEASE



## フォー・トゥエンティ・セブンが東京オフィスを開設 ベテランを日本の代表に起用

2019年10月23日 - カルフォルニア、パークレー - ムーディーズの関連会社で、気候変動に関するデータを金融業界に提供する業界のリーダー的存在のフォー・トゥエンティ・セブンは、この度東京オフィスの開設を発表した。これは日本及びアジア太平洋地域の投資家及び事業主が、彼らの投資物件と運用資産に対して日増しに増大する気候変動に伴う災害リスクと、それに対処するためのリスク評価及びディスクロージャーへの市場の要望に対応したものだ。

東京オフィスの開設に伴い、フォー・トゥエンティ・セブンは、この度、松前俊顕を日本事業の代表として起用することになった。松前は金融情報サービス業界での30年余りの経験を活かし、日本の投資家、資産運用会社、銀行、あるいは一般企業が今日抱える気候変動からの物理的リスクに対する科学的な理解と対応が可能となる気候リスクスクリーニングを提供していくことになる。

フォー・トゥエンティ・セブンの創業者で社長のエミリー・マザキュラティは「この一年日本の市場からは、企業資産、運用ポートフォリオ、債券ポートフォリオの気候変動の物理的リスクへの感応度に関する透明性を求める声の日増しに拡大してきた。」とコメントしている。さらに、「日本の市場でのフォー・トゥエンティ・セブンの存在で、銘柄レベルで提供される予想リスクデータにより、こうした要望に答え、他の主要地域での事例を伝えることができる。」と語っている。

さらに松前は「この度のフォー・トゥエンティ・セブンの東京オフィス開設は、まさに今日の金融業界からの要望のタイミングにマッチしている。日本及びアジア地域にて、気候変動インパクトに対するアプローチが確立されていなかった従来の状況から、気候データと科学的な対応が統合した意思決定に導かれる一助にフォー・トゥエンティ・セブンがなれることを希望する。」と付け加えている。

### フォー・トゥエンティ・セブンについて：

フォー・トゥエンティ・セブン(427mt.com)は、ムーディーズ社の関連会社で、気候と環境の物理的リスクに関する分析データを開発提供する会社。フォー・トゥエンティ・セブンでは分析対象企業の生産拠点、販売拠点をグローバルに分析し、それぞれの拠点での海面上昇、干ばつ、洪水、台風といった気候変動による災害リスクへの感応度を分析する。これらの災害は運用するポートフォリオへの直接的な脅威となる。

フォー・トゥエンティ・セブンのデータベースには2000社を超える上場企業と100万の企業施設がカバーされている。また顧客からのデマンドベースの分析とデータサービスも提供。さらに、データライセンス、分析ツール、企業スコアボードの他、レポートングサービス、シナリオ分析、不動産、インフラのリスク分析も提供する。

フォー・トゥエンティ・セブンは気候リスクに関する当社の画期的な提供サービス内容に対して数々の賞を受けている。また、ブルムバーグ、ファイナンシャルタイムズ、UNFCCC でフォー・トゥエンティ・セブンが取り上げられた。フォー・トゥエンティ・セブンは 2012 年創業、カルフォルニア州バークレーに本社を構え、ワシントン DC、パリ、東京に支社を持つ。

**本プレスリリースに関する連絡先:**

Matt Yemma

Peaks Strategies

+1.909-633-9396

[myemma@peaksstrategies.com](mailto:myemma@peaksstrategies.com)